デザイン制作ツールキット　お題4　依頼書

レトルトカレーのパウチ（しずる感の写真合成）

パッケージデザイン　中級　目安 3週間（実働 25時間ほど）

依頼主：港町キッチン ばんや

みなと港のそばにある、創業40年ほどのカレーの食堂。店の味をレトルトにして、店頭と通販で売っている。

この依頼は練習用の架空の依頼です。依頼主・商品・人物・住所・数値はすべて架空のものです。

依頼の内容

背景	店頭と通販で売っているレトルトカレーを、駅の土産物売り場とスーパーにも置くことになりました。そのためにパウチを新しくします。
課題	今のパウチは店のロゴと商品名だけで、棚に並んだとき「どんなカレーか」「おいしそうか」が伝わらず、手に取られていません。
ターゲット	30〜60代。旅行のおみやげや、家で手軽においしいものを食べたいときに、売り場で見比べて選ぶ人。
目標	売り場での販売数を、今のパウチの1.5倍にする（目標の数値も架空です）。

作るもの

- パウチ 表（130×180mm）
- パウチ 裏（130×180mm）
- 立体に見せたパウチの画像（売り場や通販で使う）

必ず入れるもの

- 店のロゴ・商品名「牛すじカレー」・辛さ（中辛）
- 料理の写真（素材から選ぶ）に、湯気などを合成した「しずる感」のある表
- 「※写真は盛りつけの一例です」の注記
- 裏：おいしい召しあがり方（湯せん・電子レンジ）と注意書き
- 裏：一括表示・栄養成分表示・バーコード（見本）・賞味期限を印字する場所（文章は「文章.txt」）

守ること

- 外周8mmはシール（圧着）部。文字はシールから2mm以上内側に置く
- 色や写真は切り線の3mm外側まで（塗り足し）
- 一括表示・栄養成分表示の文字は8ポイント（約2.8mm）以上を目安に読みやすく
- 写真は印刷の大きさで足りるか確かめる（素材の写真は練習用の解像度）
- 実際より多く・豪華に見せる合成をしない（具の量を増やすなど）

自分で決めること

- 料理の写真の選び方・切り抜き方と、湯気・スパイスなどの合成の仕方
- 表で一番大きく見せるもの（料理の写真・商品名）
- 辛さの見せ方
- シリーズ（甘口・辛口）にしたときの色の変え方

お題4　進め方と素材

進め方

1. **売り場を見る**
   スーパーのレトルト食品の棚を観察・撮影し、目に入る順番と選ばれ方を書き出す
2. **写真を選ぶ**
   素材の料理の写真から主役を選び、切り抜いて湯気・スパイスを合成する（しずる感）
3. **ラフを3案**
   写真の大きさと商品名の見せ方を変えた3案を作り、1案を選んだ理由を書く
4. **裏を作る**
   一括表示・作り方・バーコードを、読みやすい順に並べる
5. **作品ページにまとめる**
   表と裏・合成の前と後・立体に見せた画像を並べ、工夫を書く

素材（zip の「素材」フォルダ）



ロゴ（ばんや）
logo.png



ロゴ（白・色地用）
logo-white.png



写真：牛すじカレー（主役の候補）
curry-tray.jpg
写真：Change C.C（Pexels）



写真：煮込んだ牛肉のアップ
beef-closeup.jpg
写真：Jonathan Cooper（Pexels）



写真：白い背景のカレー（切り抜きの練習）
curry-plate.jpg
写真：Cats Coming（Pexels）



写真：スパイス
spices.jpg
写真：Tamanna Rumee（Pexels）



写真：野菜
vegetables.jpg
写真：Viktoria Slowikowska（Pexels）



湯気（背景透明）
steam.png



アイコン：湯せん
icon-pot.png



アイコン：電子レンジ
icon-microwave.png



バーコード（見本・実在しない）
barcode.png

ブランドの色と書体

カレー	#7A2E1D	港の紺	#1F2C46	生成り	#F3E7D0	からし	#E0A526

書体：Zen Old Mincho（商品名・見出し）、Zen Kaku Gothic New（説明・表示）（Google Fonts の無料の書体。Figma ではそのまま使え、Photoshop・Illustrator では Adobe Fonts か Google Fonts から入れます）

使う文章（zip の「文章.txt」と同じ）

店名：港町キッチン ばんや
商品名：牛すじカレー（BEEF TENDON CURRY）中辛／200g（1人前）
ひとこと：6時間煮込んだ、とろとろ牛すじ。／港の朝市で仕入れる牛すじを、とろとろになるまで6時間煮込みました。
注記（表）：※写真は盛りつけの一例です
召しあがり方：袋の封を切らずに、沸騰したお湯で約5分温めてください。／電子レンジは、器に移してラップをかけ600Wで約2分。
注意：※袋のまま電子レンジで温めないでください。※やけどに気をつけてください。
一括表示：名称 カレー／原材料名 牛肉（国産）、たまねぎ、小麦粉、ラード、トマトペースト、カレー粉、砂糖、食塩、香辛料、にんにく、しょうが／調味料（アミノ酸等）、カラメル色素、（一部に小麦・乳成分・牛肉・大豆・りんごを含む）／内容量 200g／賞味期限 枠外下部に記載／保存方法 直射日光を避け、常温で保存してください／製造者 港町キッチン ばんや みなと市港町3-8／※この製品はレトルトパウチ食品です
栄養成分表示（1袋200g当たり）：エネルギー 286kcal　たんぱく質 9.8g　脂質 17.2g　炭水化物 23.1g　食塩相当量 2.6g（推定値）
裏のひとこと：店で40年つくり続けた味を、そのまま袋に。
シリーズ（任意）：ごろごろ野菜カレー（甘口・#B8692A）／スパイスキーマカレー（辛口・#2F4A3A）
※店名・住所・表示・数値はすべて架空の見本です。実際に売る商品の表示は、食品表示の決まりに従って作ります。バーコードは見本です。

お題4　仕上がりイメージと、作品ページの書き方

仕上がりイメージ（見本）



見本は一例です。同じにする必要はありません。「自分で決めること」を自分で考えて、見本と違う答えを出すと作品の説得力が増します。

作品ページの書き方（例）

案件区分：自主制作（架空の依頼。ユウクリのデザイン制作ツールキット お題4）
制作物：パウチ 表（130×180mm）、パウチ 裏（130×180mm）、立体に見せたパウチの画像（売り場や通販で使う）
役割：企画・デザイン（1人で担当）
制作期間：2026.10 – 2026.10（2週間）　実働：約20時間　← 実際にかかった期間と時間を書く
使用ソフト：Photoshop（写真の合成）と Illustrator（または Figma）
目的：売り場での販売数を、今のパウチの1.5倍にする
課題：今のパウチは店のロゴと商品名だけで、棚に並んだとき「どんなカレーか」「おいしそうか」が伝わらず、手に取られていません。
考えたこと：（ターゲットの人物像から、何を一番に伝えると決めたか）
工夫：（ラフ3案から1案を選んだ理由、色・文字・配置で工夫したこと）
成果：（架空の依頼なので「期待する成果」として書く。友人に見せた感想や、自分で決めた基準で確かめたことも）

架空の依頼で作った作品は、必ず「自主制作（架空の依頼）」と書きましょう。実際の案件のように見せると、選考で信用を失います。

素材の使い方

- このお題の作品づくりと、その作品をポートフォリオ・SNSに載せることに使えます。
- 素材そのものの再配布・販売、素材を自分の作品として発表することはできません。

写真の出典と使い方

素材の写真は Pexels（https://www.pexels.com/ ）の無料の写真です。トリミングや色の調整などの加工をしてかまいません。 加工しないまま販売すること、ほかの素材サイトで配ること、ロゴ・商標・店名に使うことはできません（ライセンス：https://www.pexels.com/license/）。

- お盆にのせたビーフカレー：Change C.C（https://www.pexels.com/photo/30700759/）
- 煮込んだ牛肉のアップ：Jonathan Cooper（https://www.pexels.com/photo/15131224/）
- 白い背景のカレーライス：Cats Coming（https://www.pexels.com/photo/4611424/）
- スプーンにのせたスパイス：Tamanna Rumee（https://www.pexels.com/photo/7956502/）
- 木のテーブルの野菜：Viktoria Slowikowska（https://www.pexels.com/photo/5677717/）

できたら

- ポートフォリオテンプレートで作品ページを作る：https://portfolio.y-create.co.jp/templates
- AIポートフォリオチェックで見せ方を確かめる：https://portfolio.y-create.co.jp/check
- ポートフォリオ管理で公開する：https://portfolio.y-create.co.jp/profile